



復興への局面を拓く年に

厚真町長 宮坂 尚市朗

2023年の新春を迎えるにあたり、町民の皆さまに謹んでごあいさつ申し上げます。旧年中は、皆さまから町政諸般にわたり特段のご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本町に未曾有の災害をもたらした平成30年北海道胆振東部地震から既に4年4カ月の日が経過しました。町内では、人里に近い急傾斜地の安全確保、直轄砂防施設、治山施設の建設、浄水場、橋梁、道路などの社会基盤や宅地、農地、灌漑施設などのインフラの復旧工事は、既にほぼ完了し、残る工事も町施工の一部工事を除き新年度中には完了します。このような状況の中、3000haを超える被災森林の再生が課題となっ



努力が花開き、実り始める年に

厚真町議会議長 渡部 孝樹

町民の皆さま、明けましておめでとうございます。

皆さまには輝かしい新春を健やかにお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

旧年中は日ごろから町議会に対し温かいご支援、ご指導を賜り心から厚くお礼を申し上げます。

さて、令和4年の世相を表す漢字は「戦」でした。北京冬季五輪やワールドカップサッカーの熱い戦いと感動を享受した年でもありました。また、3年を超える新型コロナウイルス感染症は収束と拡大を繰り返しいまだ終わりが見えない状況であ

ていますが、令和8年度までを重点期間としてこれまでの取り組みを更に加速させてまいります。全国的にも日本の災害史に記録される規模での取り組みとなりますので、関係機関、関係者の皆さまには、ご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

災害復旧が進み、本町は、復興への取り組みにも挑戦を始めています。庁舎周辺整備や防災減災対策、自然災害被災地ならではのエネルギー地産地消や省エネルギー・創エネルギー・吸収源対策を官・民・学で総合的に取り組んでいくゼロ・カーボン施策の推進、一次産業を中心にIoT、ICTの推進とグリーン×グリーン×デジタル政策を展開し、「決して諦めないまち」へと『挑戦』をキーワードに歩みを進めています。民間が進めている陸上設置型風力発電事業の環境影響評価は、北海道と連携して注視しているところですが、ゼロ・カーボンタウンの構想実現に向けた民間からのアプローチには手ごたえを感じています。

未曾有の困難にあっても、町民一人ひとりの災害に立ち向かう姿勢とご理解ご協力により、ここまで復旧を進めることができましたが、一方で、被災された町民の皆さまが抱える不安、悩みはこの短期間では、決して癒えるものではありません。そ

れぞれの不安をできるだけ軽減し、個々の課題解決のため関係機関や町民のご協力をいただきながら、被災者に寄り添い誰一人として取り残すことのない復旧・復興を目指して努力を続けてまいります。また、震災記憶を風化させることのないよう、これからも多くの教訓と復旧・復興の記憶や経験を町内外で共有し、継承していかなければなりません。日本海溝・千島海溝沿いを震源とする巨大地震による被害想定は、北海道民に大きな衝撃を与えましたが、今後も、命を守る防災・減災対策に全力で取り組んでまいります。

国際情勢における安全保障への不安、燃料や資材をはじめとする資源・エネルギー価格の高騰、大幅に進む円安などが、私たちの生活や経済活動に新たな困難をもたらしています。また、水田活用の直接支払交付金の取り扱いに端を発した農業政策の大幅見直しは、砂糖生産や畑作物の直接支払交付金など、多方面へと急激な広がりを見せており、消費低迷と生産コストの暴騰に苦しむ農業者にとって再生産意欲の減退に繋がるのではないかと危惧しています。

命題である復旧・復興を第一に、その先にある創生への道と持続的発展、本町が目指す将来像「あつまる・つながる・まとまる、大いなる田園のまち」の実現に向け、恐れず誠実に時代と向き合っていきたいと思います。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、私たちの暮らしは大きな制約を強いられました。未だ感染拡大の収束が見通せない状況にありますが、町民の皆さまには引き続き基本的な感染予防を徹底していただくようご理解ご協力をお願いします。

り、経済活動や社会生活に大きな影響をおよぼしております。このような中、新たな変異株が確認され、感染の拡大など不安な状態に変わりはなく、予断を許さない状況が続いております。一日も早い新型コロナウイルス感染症の収束を願うと共に、一人ひとりの感染症対策が収束への近道だと思っております。

を打つ草原焼きなど、厚真町最大のお祭りが盛大に繰り広げられました。さらに、町民の皆さまの各分野での活躍や努力の成果を一堂に集めて、多くの方々が参加した「厚真町文化祭」が開催できましたことは大変喜ばしいことであります。

改めて、新型コロナウイルスに感染された方々やそのご家族、不安のなかにおられる皆さまに対して、心からお見舞いを申し上げます。

さて、昨年に岸田内閣が打ち出した物価高・円安への対応、構造的な賃上げ、成長のための投資と改革に向けた「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」が、今後どのように反映されていくのか、その動向に期待し注視していく必要があります。

また、このような局面において、長期にわたって献身的に対処いただいている町内医療従事者の方々にかれましては、この感染症の多岐にわたる課題へのご尽力に対して、町議会を代表して、心から敬意と感謝の気持ちを表します。

一方、町内においては、北海道胆振東部地震から5回目の春を迎え町の姿も環境も大きく変わり始めております。厚真ダムは復旧工事が進み今年度は試験湛水を行い、今年から来年度にかけて順次供用開始になると聞いております。これにより、厚幌ダム、勇払東部導水管と長きにわたり懸案事項だった厚真の水問題も一部を除き解決することになり、基幹産業である農業が安定して営農できるように環境は整います。震災前よりも各地域の農地が黄金色になる事を期待しております。

また、議会としましては執行機関とともに二元代表制の一翼を担う議

会が果たすべき役割や責務はこれまでに以上に重要となっております。本議会においても、執行機関の監視およびけん制はもとより、町民参加を基本に町民の代表として自由闊達な議論を交わし、十分な審議および審査を尽くし、町民の多様な意見の把握に努め、町民にとって身近で公平公正、透明性のある開かれた議会運営を通じて、全力で町民の負託に応えていく所存でございます。

本年も、町民の皆さまのご意見を丁寧に向い、町議会が一丸となって、行政と活発な議論を進めて参りますので、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年の干支は「癸卯」。これまでの努力が花開き、実り始める」といわれ、また、「辰巳大井、午尻下がり、未辛抱、申酉騒ぐ、戌は笑い多は固まる、子は繁栄、丑はつまずき、寅千里を走り、卯は跳ねる」との格言があります。兎には跳ねる特徴があるため、景気が上向きに跳ねる、回復するといわれ縁起の良い年として知られております。格言にあやかり、国内、町内でも、景気が回復し町民皆さまに「家内安全」で、「飛躍」と「向上」の年であらんことをお祈り申し上げ、新春のごあいさつとさせていただきます。